

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年 4月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400107
法人名	医療法人 浩愛会
事業所名	グループホーム ひいらぎ
所在地	鹿児島県垂水市柘原625番地2 (電話) 0994-35-3686
自己評価作成日	平成29年2月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成29年3月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所の理念「思い・願いを大切に笑顔で明るく楽しい生きがい作り」を基本として職員一人一人が、入居者様の一日一日を楽しく安全に過ごす事が出来る様にまごころを込めて接しています。入居者様が在宅時と変わらないその人らしい生活が出来る事を目指しています。併設の同法人「小規模多機能ホームとの連携により、合同行事や近隣住民との交流を図って居ます。近隣の方からの収穫した作物をいただく事も有り、入居者様に下ごしらえをしていただき食卓に上がる日もあり入居者様が楽しく食事をされ笑顔あふれるホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<理念>
・開設当初に職員全員で考えた理念を、玄関やフロアに掲げることで意識付けを図るとともに、管理者は「目標達成ノート」を基に、事業所の年度目標と個人目標の達成状況および改善策の確認を個別面談にて実施している。

<災害訓練>
・災害訓練には地域の企業の職員や地域住民の参加も得られ、隣接する小規模多機能ホームと合同で実施している。
・昨年の台風時には、周辺の側溝が詰まってしまったこともあり事業所内に土砂が流れ込むといった土砂災害に見舞われたため、側溝清掃を意識的に行うようになった。
・備蓄については、米や飲料水に加え、牛丼やシチュー、けんちん汁といった一缶に50食分程度入った業務用缶詰を準備するなど万一来るに備えている。

<医療と介護、行政との連携>
・垂水市は昨年よりタブレットを活用した情報交換に力を入れており、医療と介護、行政間における連携がスムーズに行えるようになった。けがの状況等をタブレットで撮影し、主治医に画像を送ることで、すぐに対応方法の指示が得られるなど大変役立っており、事業所を運営するにあたって安心感が増したとの意見を確認することができた。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	昨年より目標管理シートに各職員の理念に沿った年度目標と事業所の目標を掲げて、理念の確認と目標達成について定期的に個人面談を行っている。	職員全員で作上げた理念にもとづき、事業所の年度目標、職員の個人目標を設定している。年に数回の個別面談で、各々目標達成について振り返りを行い、理念・目標の確認をし、日々の実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	住宅地に有り、ご近所とのふれあいは多く、日頃のあいさつや各種行事への参加声掛けを行っている通りがかりに寄って来られる方もおられる。	自治会に加入しており、回覧板で地域情報を収集し、地域の敬老会や海岸清掃活動に積極的に参加している。また、小学校の運動会や学芸会への参加、散歩の際に地域の方々と挨拶や言葉を交わしたり、野菜の差し入れを頂く等、日常的な交流が行われている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	敬老会や夏祭りなどの年間行事を開催したり地域の行事に参加した時に毎回テーマを変えて寸劇を行い、認知症について理解してもらえる様にしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所・民生委員・ご家族、交番の警察官、に参加していただき意見交換している。推進会議で、上がった話題を、職員へ伝えて、今後のサービス向上に努めている。	会議には家族や職員、民生委員や行政職員、駐在所の警察官等の参加があり、事業所の活動内容や外部評価の結果報告、意見交換を行っている。メンバーからの提案で、徘徊模擬訓練の実施や認知症キャラバンメイト研修の報告を地域の敬老会で発表するなどの取り組みが行われている。会議の内容は職員で共有して、サービス向上に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や市主催の研修会、地域連携推進会等で市の担当者を見かけたら、情報交換をして協力関係を築ける様になっている。	昨年より垂水市はタブレットを活用した連携に力を入れており、行政や介護事業所、病院等関係機関による情報交換が密に行えるようになった。また、医療と介護従事者で構成する「参木会」にも定期的に参加することで意見交換を行い、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所目標の中に言葉による身体拘束の防止があり法人の委員会参加や勉強会へ出席して拘束の理解に努めている	身体拘束員会による勉強会のほか、権利擁護や言葉による拘束についての研修会を実施している。日常のケアの際、言葉による拘束はないか、日頃より職員同士が声を掛け合い、注意し合える関係ができています。また、地域住民との関係も良好なため、無断外出等の万一の時は見守りや通報の協力がもたえられる体制ができています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人研修等により学ぶ機会を持っていて、虐待防止に努めている。言葉による虐待等、気付かないで、行っている事が無いように職員が互いに気を付けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人による年1回の権利擁護の研修は市役所等からの外部の講師を招き全職員が参加を義務付けられているため学ぶ機会もある。成年後見制度は認知症介護の研修などで学ぶ機会があるが理解に時間を要す		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時説明を行いながら、疑問点はないか確認をし、分からない事があればいつでも遠慮なく聞いて下さいと伝えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会や日頃の面会時に、話をして御家族・入居者様の意見・要望を聞き早急に対応し運営に反映する様にしている。	日常の中の表情・言動等から利用者の思いを汲み取るとともに家族からは家族会や面会時に要望・意見を聞き取るようにしている。職員は情報を共有し、業務改善に取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ケア会議や日常での会話の時、個人目標の進捗状況把握の為に個人面談を2か月に1回以上行う事になっている為面談時に出た意見などを運営に反映している。	管理者は毎月のミーティングや2か月に一度実施する個別面談において職員の意見を聞くようにしている。また、職員の希望する休みを極力叶えたり、資格取得のための勤務調整を行うなど日頃から職員一人ひとりの意見に耳を傾け、働きやすい環境に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	厳しい現状の中で、少しでも改善できるように努力をされていると思う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の勉強会や各事業所での勉強会、外部の研修会など、職員のスキルに合わせた研修を選び、最適な研修に参加しスキルアップに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>各種行事に招待して参加交流したり研修会等で話をして得た情報をケア会議や日頃の会話の中で伝えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族や前の施設からの情報を基にご本人様の様子を見ながら無理のない様に信頼関係を築きその人らしい暮らしが出来る様心がけている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の要望・困り事に耳を傾け入居者様の状況を説明して不安の解消に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人・ご家族の要望をよく聞いて、ケア会議でスタッフ全員で協議して必要なサービスを提供出来る様にしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人と共に生活している家族の様な関係を作り野菜の下ごしらえや洗濯など出来る事を協力してもらい自宅に居る様な環境作りをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時など、入居者様の情報を伝え、御家族の要望を出来る限り実現出来る様にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまでのご本人の築いてきた関係を絶たない様に支援している。	入居後も馴染みの関係が途切れないよう家族や親せき、友人宅に連れて行くなどの交流を行うとともに、来所時も快く対応している。また、馴染みのお店に出かけたり夏祭りやクリスマス会に友人を誘うなど積極的に交流の機会を設けている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係性を把握して、トラブルに留意しながら早めの対応を心がけ孤立しない支え合える関係づくりに努めている。。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	挨拶や各種行事のお知らせなどを通じて関係を保って相談や支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様の意向を第一に、本人の思いが反映出来る様、職員間で検討している。	自由に記入できる連絡ノートを準備し、気付いたことを記入しており、毎朝職員が目を通して。また、別に申し送りノートや介護記録にも落とし込み、ケア会議や申し送り時に情報の共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時のサマリーやモニタリング、スタッフとの関わりで得た情報を参考にして、職員間で把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の今までの生活スタイルを出来るだけ変えずに、本人の有する力を持続出来る様に心身の状態を考慮しながら一日の過ごし方を検討している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族の意向を参考にしてケア会議でスタッフ間での情報交換を行い介護計画を作成している。	ケアプラン内容が実践できているかを「実績記録」にて毎日チェックし、毎月のカンファレンスで意見交換するほか、主治医や訪問看護の意見も参考にしながらケアプランを作成している。また、状態が悪化した場合には随時プランを見直し再度作成しており、担当者会議を経て関係者に交付している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や業務日誌・各種記録などで情報をケア会議などで共有して介護計画の見直しや実践に役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職員間で情報を共有し必要なニーズに対応して可能な限り実践している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流が出来る様に行事を計画し楽しめる生活が出来る様に支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前の主治医と連携を図り、緊急時における関連病院との連携も取れる様にしている。	入居前のかかりつけ医を把握し、入居後も本人家族の希望する病院で受診できるように、家族と職員が協力している。医師とは直接電話で話をするほか、市の提供する通信タブレットを利用して病状の細かい情報交換や指示を仰ぐなど、医療機関との連携がよく取られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様の変化を、看護職員に伝え、必要な対処を受けられるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>御家族や当該病院担当者と連携して情報交換を行い適切な対応が取れる様に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化・終末期について契約時やご家族との面談時にご本人・ご家族の意思を確認しターミナルケアに関する同意書を作成している。又職員は研修に参加したり、方針を共有しチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化・終末期については、入居時や家族会で説明するとともに入居後も早い段階で「ターミナルについての同意書」にて説明し、同意を得ている。また、看取りの研修会に参加したり、毎月のケア会議で話し合う機会を持つなど積極的に取り組んでいる。過去に看取り支援の経験もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年一回救命訓練を実施して、救命力の向上を図っている。法人による警察官講師の防犯の研修にも参加し自施設での対策を話し合った。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年二回避難訓練（夜間想定火災・地震）を行い、近隣の方にも参加してもらえるよう広報して緊急時に備えている。</p>	<p>夜間想定火災訓練を実施したほか、桜島の噴火や津波の訓練を隣接する小規模多機能ホームと合同で実施した。昨年は台風による土砂被害に遭ったため、周辺の側溝掃除など徹底して行うようにした。備蓄については、米や飲料水、業務用缶詰を準備し、懐中電灯や防災ラジオ等備品も備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩なので、敬意を持って笑顔で接しプライドを傷つけない様に人格を尊重しながら言葉遣い・接し方を心がけている。	行政職員による権利擁護研修会を実施したり、接遇や言葉遣いについて話し合う機会を設けている。日頃から言葉遣いには十分注意すると同時にプライベートな会話は居室で行ったり、トイレにはさり気なく誘うなどの配慮をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御本人の希望や思いを実現出来る様にご家族からの情報を参考に自己決定できるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	パーソンセンタードケアを基本にしてその方のペースで生活出来る様努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	御本人の意思を大事にしながらアドバイスして季節に合わせた服装を決定している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	御本人の嗜好に添いおいしく食べられる様に工夫し職員も一緒に食事をして、できる方には準備や片づけをして頂いている。	利用者の食べたい物を会話を通じてくみ取り、地域からの差し入れの旬の食材も利用しながら栄養バランスの良い食事の提供に努めている。また、誕生会メニューや行事食の提供のほか、お寿司やおそばなどの外食の機会を設け、食の楽しみにつながる工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様の状態により提供法を替えたり各利用者様の水分摂取管理表により水分管理を行い、バランスの取れた食事・水分を摂れるように工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、声掛けを行い、出来る範囲で行ってもらい出来ない所は職員が手伝っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様の状態をみながら声掛けや観察誘導を行い、自己にてトイレでの排泄を維持できる様、職員間で情報を共有している。	一人ひとりの排泄状況を排泄チェック表を参考にしながらトイレ誘導を行っている。日中はトイレでの排泄を基本とし、夜間はリハビリパンツやパットを個々の状態に応じて使い分けるなど、極力おむつを使用せずに排泄の支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄管理表により排便の状態を確認し個々に応じて、薬剤の使用など検討し快適な生活が出来る様になっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は、楽しみの一つでも有るので、楽しく、ゆっくりとは入れる様に希望の入浴時間を考慮してバイタルチェックを確認しながら、安全に留意し声掛けを行っている。	入浴日は決めておらず、足浴やシャワー浴を含め、利用者が入浴したい時に入れるように支援している。入浴中は会話を楽しみ一人ひとりとのコミュニケーションを大事にし、入浴後は必要に応じて軟膏を塗布したり、水分補給に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活パターンに応じて温度調整や足湯などその方に合わせリラックスして休息出来る様にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の情報を把握し、ご本人の状況により手渡しや全介助までその方に合った与薬を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の出来る事に合わせて、手伝をもらったり、それぞれの首肯品を提供している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	隣接の小規模多機能施設と協同して外食や外出などを行って買い物をしたりしている。	花見や駅伝の応援、小学校の運動会や公民館で行われた文化祭に参加する等外出の機会は多く、小学校の入学式にも出席するなど地域の子ども達とふれあう機会も得られた。また、年に数回外食にも出かけ、その際は隣接する小規模多機能ホームと合同で行うことが多く、職員が協力し合って外出を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者様の状態により自己管理が出来る方は自分で持ってもらい、出来ない方は、御家族と協議して事務所で預り金として保管し買い物の希望などを聞き一緒に出掛けたり、購入したりしている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話をしたい時に自由に電話されご家族から電話があるときは居室でゆっくり話が出来る様に配慮している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>気候・季節を考慮しながら、快適に生活出来る様、飾り物などを工夫している。</p>	<p>フロアの天井は高く、採光も十分あるため明るく、加湿空気清浄機の利用やこまめに換気を行うことで感染症予防にも気を配っている。トイレは3箇所あり、便器の向きが工夫されているため、動作し易いトイレを選び利用できるようになっている。洗濯物たたみ等で利用する畳スペースに訪問時は段飾りの雛人形が飾られており、日頃から季節を感じさせる部屋の飾り付けを工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>協用空間でも、ソファを置いたりしてパーソナルスペースの確保出来る様に配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の使い易いように、配置し、自宅で使用していた馴染みの物やお気に入りをおきなどして居心地良く過ごせる様に工夫し変更が有れば、職員が手伝っている。</p>	<p>ベッドやエアコン、タンスが備え付けられている。これまで使っていたテレビや写真等馴染みの品を持ち込んでいただき、家族とも協力して配置を考え、居心地の良い部屋作りを支援している。居室の掃除は毎朝職員が行っており、手すり等は特に念入りに消毒し、清潔な環境に配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者様それぞれに合った環境を造れるように、快適で安全により自立した生活が出来る様に工夫している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない